

はなのき
花ノ木古墳群(本発掘調査A)

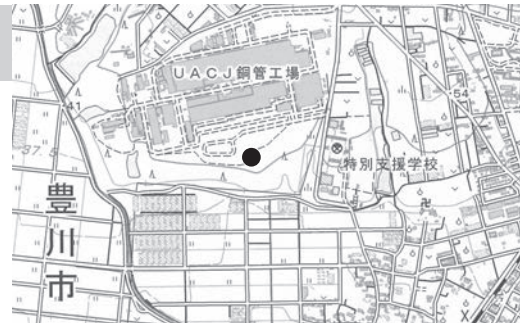
所在地 豊川市大木町地内
(北緯34度51分32秒 東経137度24分41秒)

調査理由 道路改良工事(一般国道151号一宮BP)

調査期間 令和元年5月~6月

調査面積 60㎡

担当者 樋上昇・早野浩二



調査地点(1/2.5万「新城」)

調査の経過 発掘調査は道路改良工事(一般国道151号一宮バイパス)に伴う事前調査として、愛知県建設局道路建設課から愛知県教育委員会を通じた委託を受けて実施した。

調査の概要 花ノ木古墳群は西原台地の縁辺に立地する。現況は雑木林である。古墳が分布する谷西側の南向き緩斜面については、TT22において弥生時代中期から後期の遺物のまとまった出土が確認されるが、TT19・TT26において遺物量は少なくなる。谷周辺、TT14・TT15以東、TT07以西については、遺構・遺物の出土は確認されない。

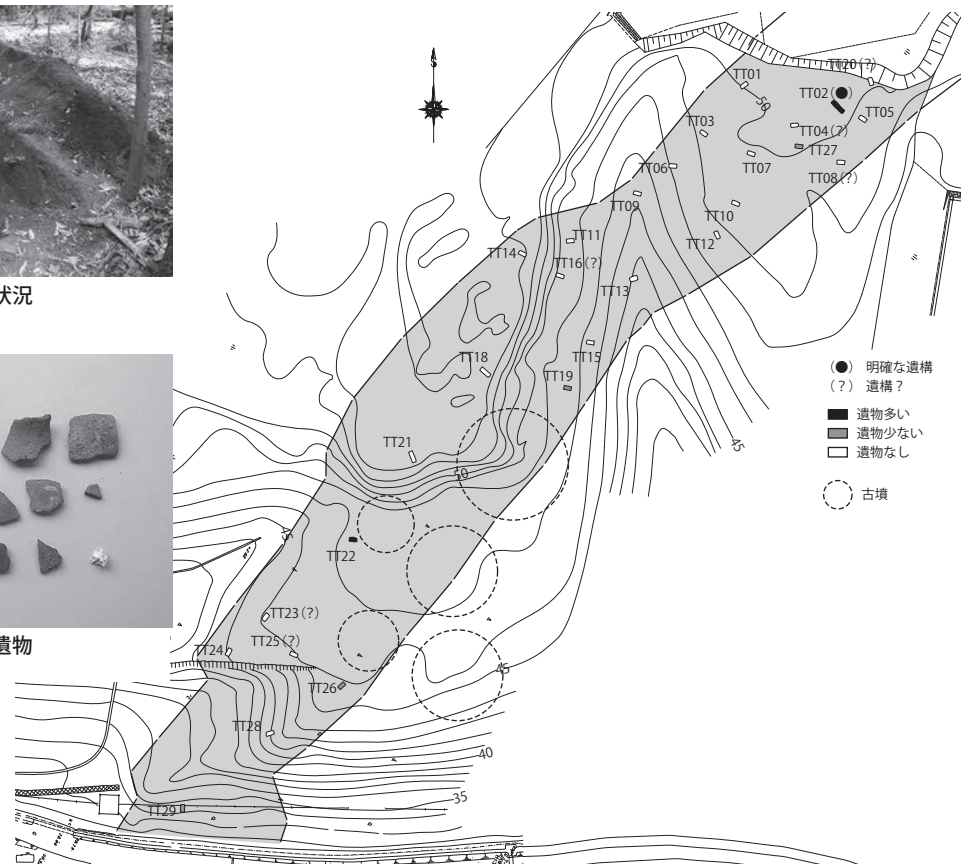
周知の遺跡の範囲外であった谷東側の南西向き緩斜面については、TT02において、弥生時代中期から後期の確実な遺構とまとまった遺物の出土が確認され、少量ながら、TT27においても弥生土器の出土が確認された。この結果、TT07以東に弥生時代の遺跡が展開することが判明した。
(早野浩二)



TT02確認状況



TT22出土遺物



花ノ木古墳群トレンチ配置図(1:2,000)